令和2年度　猪名川町立大瀬中学校　学校関係者評価報告

【学校教育目標】 夢と希望を抱き、挑戦する力の育成 【重点目標】 自ら気づき、考え、行動できる生徒

目指す学校像	目指す生徒像	目指す教師像
・学力を伸ばす学校 ・居場所のある学校 ・命と健康を大切にする学校	・自ら学ぶ楽しさを身につけた生徒 ・自他を認める生徒 ・自分の命を自分で守り、健康を管理できる生徒	・生徒の学習意欲をくすぐる教師 ・生徒の背景や心の状態を受けとめ、寄り添い、共に歩む教師 ・心身共に健康で、生徒のことを第一に考える教師

本年度の重点方策
・「わかる授業」「魅力ある授業」による学力保障 ・安全・安心な学校づくり　・特別支援教育の推進 ・人権、同和教育、道徳の推進　・ユニバーサルデザイン化の推進 ・ふるさとづくりの推進

A：できている(満足)　B：どちらかといえばできている(やや満足)　C：どちらかといえばできていない(やや不満)　D：できていない不

◎：適切である　○：概ね適切である　△：あまり適切でない　×：

領域	評価の観点	評価項目	評価基準	①平均	②到達度	③評価	a(%)	b(%)	c(%)	d(%)	評価基準	設問番号	①平均	②到達度	③評価	a(%)	b(%)	c(%)	d(%)	評価基準	設問番号	①平均	②到達度	③評価	a(%)	b(%)	c(%)	d(%)	改善方策	自己評価妥当か	地域方策妥当か	学校関係者評価委員の提言
1 学校運営	（1） 学校運営	①家庭や地域への情報発信	学校だよりや学年だより、ホームページなどで教育方針や教育内容など学校情報を積極的に発信している。	3.7	91.7	A	66.7	33.3	0.0	0	学校は、保護者に対して、学校だよりや学年だより、ホームページなどで、教育方針や教育内容など学校情報を積極的に発信している。	1-(1)	3.3	81.6	A	42.9	44.9	8.2	4.1											・学校通信やホームページを活用して、学校教育目標や指導方針、取り組み等を保護者や地域住民に知らせ、理解と協力を求める。 ・感染予防対策をキチンと取りながら、図書室開放や地域に出向いての活動をしていく。	◎	◎	・今年度は地域に聞かれた行事などを実施できない状況だったため、来年度の取り組みの工夫が求められると思います。 ・感染症対策により、保護者や地域の方の参加が難しいと思われますが、行事で参加可能か否かを、行事予定に記入して頂くことは出来ないでしょうか。 ・学校便りをホームページで見られるとよいと思います。 ・感染予防対策をとりながら出来ることを出来るときに行っていくことは大切だと思う。地域とのつながりを切ることなく、細く長く取り組むことが大切。
		②保護者、卒業生、住民参加の教育活動（六瀬村塾）	~~学校の教育活動に、保護者、卒業生、地域住民が積極的に参画できるような体制ができている。また、自ら進んで参加協力に努めている。~~								学校は、保護者や地域住民の参画を取り入れた方策をおこなっている。また、保護者や地域住民の意見を取り入れて、学校経営の改善を進めている。	1-(2)	3.2	79.1	B	34.7	49.0	14.3	2.0														
		③オープン行事の企画実施	オープンスクール、各種説明会、オープン行事を企画し、保護者や地域住民の感想意見を積極的に取り入れている。	3.7	92.9	A	71.4	28.6	0.0	0	学校は、オープン参観や各種説明会、オープン行事を設けて、学校に集まれる機会を適切につくっている。	1-(3)	3.6	89.3	A	63.3	30.6	6.1	0.0														
	（2） 学校組織 及び教職員の資質向上	①校務分掌の機能	学校経営方針のもと、校務分掌が適切に配置され、「チーム学校」として組織が十分機能している。	3.3	82.7	A	30.8	69.2	0.0	0																			・適材適所に人員を配置し、教職員一人一人の良さが発揮できるようにする。 ・自ら考える生徒を育成するために、授業改善や指導力向上の研修を実施する。 ・同僚性がある職場環境を整え、勤務時間の適正化に努める。	◎	◎	・教科指導や生徒指導など、教員としての本来の職務を遂行するためには、教員間の学び合いや支え合い、協働する力が重要であるが、昨今、教員の間に学校は一つの組織体であるという認識の希薄になってきていることは、どの学校でも言えることではないだろうか。同僚性を高めるための工夫を考える必要がある。 ・自己評価が適切かどうかは判断しづらいところですが、職場の「同僚性」は大切だと思います。 ・学校の自己評価が高いことから、先生方が自信を持って授業や指導に赴いてくださっていることがわかります。 ・少ない人数で学校経営は、一部の人に文章が集中しがちとなる。適材適所という配置に加えて、誰もが出来る分業を目指したい。
		②会議の運営	職員会議や連絡調整委員会、学年会議、各種委員会が連携して効率的に行われている。	3.5	87.5	A	66.7	25.0	0.0	0.7																						
		③教職員のチーム力	学校教育目標に沿って、教職員一人一人が前向きに一丸となって組織的に活動している。	3.4	85.7	A	50.0	42.9	7.1	0	教職員がチームになって、六瀬中学校の教育をよりよくするためのやる気と一体感を感じる。。	1-(5)	3.2	80.2	A	45.8	31.3	20.8	2.1														
		④関係者とのコミュニケーション	様々な場面を活かして、地域住民、PTAや教職員が積極的なコミュニケーションを図り、相互理解と相互信頼の構築に努めている。	3.4	84.6	A	38.5	61.5	0.0	0																						
		⑤研究研修の充実	教育全体の新たな課題や本校重点課題に即して、研修活動が活発に行われている。	3.6	89.6	A	58.3	41.7	0.0	0																						
		⑥教職員のマナー、倫理観	トイレや机上整理など職場の環境美化に努めるとともに、職場での声の大きさ、独り言等、社会人としてのマナーや教育公務員としての高い倫理観が職場にみなぎっている。	3.1	78.6	B	21.4	71.4	7.1	0																						
		⑦勤務時間の適正化	学校行事の見直し、ノー部活デー、ノー会議デー、定時退勤日の実施により、生徒と向き合う時間を確保し、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて取り組んでいる。	3.4	84.6	A	53.8	38.5	0.0	0.8																						
	（3） 特色ある学校づくり	①夢を描く力の育成	子どもたちに「主体的に夢を描く力」を身に付けさせるように努めている。	3.5	86.5	A	46.2	53.8	0.0	0																			・請演会やゲストティーチャーによる授業で自分の夢や人生について考えさせる。	◎	◎	・目に見えて活動できているとはいえない。外部への発信を強くしてほしい。 ・コロナ禍ではあるが、積極的な対応の継続を求める。 ・たくさんの体験や、人の話を聞くことで、ひとりひとりが柔軟に、自分自身のことを考えることが出来るようになるといいと思います。 ・いろいろな人や物との出会いは、子ども達にとって宝物だと思います。今後も続けていきましょう。
		②ふるさとづくりの推進（地域の文化、人材の活用）	~~地域ぐるみの教育をめざし、地域の人材を積極的に活用したり地域の教材化を図ったり地域との連携を図っている。~~																													
		③ユニバーサル・デザイン化の推進	学校生活のユニバーサル・デザイン化を進め、すべての生徒にわかりやすい指導に努めている。	3.3	81.3	A	50.0	33.3	8.3	0.8																						
	（4） 一貫教育	①幼小中の連携体制	幼稚園、小学校との連携を推進するための組織が機能し、相互交流が活発に行われている。	3.1	77.3	B	27.3	54.5	18.2	0	~~幼稚園・小学校・中学校が交流が盛んで、行事などで相互によく連携できていると思う。~~	~~5-(1)~~																	・生徒の学力の現状把握をし、小学校と課題を共有して、基礎学力の定着を図る。	○	○	・今年度は、コロナ禍で出前授業などを行うことが難しい状況であったが、学力向上のために小中の連携を強めていく必要性を感じている。 ・一貫教育は必要不可欠と考える。小学校等と研究を深めて頂きたい。 ・合同の研修会や、先生方の交流は大切だと思います。課題を共有して、幼小中の11年間の見通しを持っての取り組みは大切です。今年度三校1園が うまく機能できなかったものの、目指す子どもの姿は確認出来た。六瀬中として、最終年となる次年度へ活かしていただきたい。
		②学びの連続性を踏まえた指導	幼稚園、小学校と中学校との学びの連続性を深めるために積極的に指導の交流を進めている。(出前授業、合同研修会の開催など)	3.4	84.1	A	36.4	63.6	0.0	0	幼稚園・小学校・中学校の教職員が地域の一貫教育のために、互いに教育内容を連携し合って研究しているように思う。	5-(2)	3.0	74.5	B	18.4	63.3	16.3	2.0														
	（5） 学校の情報化	①教員のICT活用能力	一人一人の教師がICTを活用した授業を積極的に進めている。	3.3	81.3	A	25.0	75.0	0.0	0																			・猪名川町のセキュリティーポリシーを徹底し、遵守する。 ・生徒一人一人にタブレットが支給されたので、授業での活用機会を増やすとともに、教職員の技能の向上を図る。	○	◎	・ICT活用能力の向上を図ること合わせて、各種情報が持つリスク教育も必要と考える。 ・家庭での学習環境をしっかりと把握しておくことが大切だと思います。 ・タブレットの活用の仕方は、難しいこともあるかと思いますが、生徒たちが、自己学習で情報活用できる方法や、こういうところで活用すべき、ということを教えて頂けたらよいのではないかと思います。
		②生徒のICT活用能力の向上	オンライン学習システムを導入し、学力向上を図るとともに、生徒自身のICT活用能力の向上にもつなげる。	3.3	83.3	A	33.3	66.7	0.0	0																						
		③校務支援システムの活用	校務用パソコンを活用し、情報資産の共有化や業務の効率化を図り、学校事務の改善を推進している。	3.5	88.5	A	53.8	46.2	0.0	0																						
		④個人情報の保護管理	電子データ、紙媒体、口頭を問わず、猪名川町セキュリティーポリシーを遵守している。	3.6	91.1	A	64.3	35.7	0.0	0																						
	（6） 信頼される学校づくり	①保護者や地域からの信頼	保護者が安心して子どもを通わせ、子どもの成長に満足している。地域を大切にした取組が進められていると保護者や地域住民が感じられる教育を推進している。	3.4	84.6	A	38.5	61.5	0.0	0	子どもが通う学校として安心し、また子どもの成長に満足している。	5-(3)	3.3	83.2	A	44.9	42.9	12.2	0.0	あなたは、のびのびと安心して学校生活を送ることができていますか。	15	3.6	89.2	A	62.1	32.8	5.2	0.0	・「スチューデントファースト」を合言葉に、生徒が行きたい学校づくりを推進する。	◎	○	・引き続き、比較的のびのび出来ていない生徒への対応を お願いする。 ・生徒による評価が高いことが何よりだと思います。 ・スチューデントファーストで目指す具体がわかりづらく感じた。
2 確かな学力	（1） 教育課程	①教育計画	年間計画が適正に実施されている。また、授業日数・授業時数の配当及び時間割・校時表が適切かつ効果的に配当され、実施されている。	3.3	82.7	A	46.2	38.5	15.4	0	学校は、教育目標の達成に向けて適切な授業時数や行事日程を計画し、実施していると思う。	1-(4)	3.3	83.0	A	36.2	59.6	4.3	0.0											・行事等に係る時数を見直し、授業時数の確保する。	◎	○	・行事の実施は生徒たちの成長に欠かせない要素を持つので単に減らすという考えに至るのではなく、工夫し実施して頂きたい。 ・行事の精選の基準を明確にすると保護者にもわかりやすいと思います。 ・今年度は、コロナ感染で大変だったと思います。
	（2） わかる授業づくり	①学修者が主体の指導内容・指導方法の工夫改善	学習する者が主体的、協働的に学ぶ指導方法の工夫改善に取り組むとともに、授業のユニバーサルデザイン化を図っている。	3.2	80.6	A	33.3	55.6	11.1	0	教師は基礎・基本を身につけるための学習を大切にし、わかりやすく楽しい授業を工夫していると思う。	2-(1)	3.1	78.1	B	22.9	66.7	10.4	0.0	あなたは、授業に集中し、意欲的に取り組んでいますか。	2	3.2	79.7	B	27.6	63.8	8.6	0.0	・「学習者の視点に立った授業づくり」を深める。 ・生徒の好奇心ややる気をくすぐる授業をすることによって、生徒の内発的な動機付けを高めて、自主的な家庭学習ができるようにする。 ・「主体的・対話的で深い学び」の授業が展開できるように研修を深める。 ・授業に関する生徒アンケートを実施し、授業改善につなげる。（PDCAサイクルの確立） ・統一した授業の進め方を取り入れ、学力向上に努める。 ・新しい評価の観点の内容や評価方法について研修を深める。	○	○	・家庭学習の習慣付けが課題であるが、根気強く取り組み、新たな発想の研究を推進してほしい。 ・10（S）と同じく、自主的な家庭学習が可能になるような学習環境へのサポートがどれだけ出来るかだと思います。 ・少人数が故の発表する機会の多さ、表現力を伸ばせると思います。 ・保護者も生徒も家庭学習の不足を感じているので、家庭での学習を少しずつでも、習慣づけるところから頑張れると思います。
		②言語活動の充実	学習活動の中に言語活動を大切に位置づけている。	3.2	80.6	A	33.3	55.6	11.1	0	教師は言語力を大切にした学習を進め、言葉を使ってまとめたり、作文したり、発表したりする機会を増やしていると思う。	2-(2)	3.2	78.6	B	29.2	58.3	10.4	2.1														
		③体験学習の推進	~~体験的な学習活動をできるだけ取り入れ実感をともなう学習に努めている。~~																													
		④指導と評価の一体化	指導と評価の一体化を常に意識した授業を展開し、できていない生徒への働きかけを粘り強く行う。	3.4	86.1	A	44.4	55.6	0.0	0	教師は生徒一人一人の学習課題を理解し、生徒の理解度に応じた、きめ細やかな、粘り強い指導をしていると思う。	2-(3)	3.2	80.2	A	33.3	56.3	8.3	2.1	あなたは、学校の授業内容が理解できていますか。	1	3.2	80.6	A	29.3	65.5	3.4	1.7				
		⑤家庭での主体的な学習活動の推進	家庭での学習活動を定着させるために、放課後学習などの取組や副教材の工夫などを積極的に展開する。	3.3	83.3	A	33.3	66.7	0.0	0	生徒達は家庭でも自主的に学習活動を行っている。	2-(5)	2.7	67.7	C	12.5	54.2	25.0	8.3	あなたは、家庭学習の習慣が身についていますか。	3	2.7	68.1	C	15.5	50.0	25.9	8.6				
	（3） 特別支援教育	①特別支援教育推進体制の強化	特別支援教育についての全教職員の共通理解のもとサポート体制が整備されている。	3.3	81.8	A	36.4	54.5	9.1	0	教師は、特別な配慮を必要とする生徒に対して、適切な支援をしていると思う。	2-(4)	3.3	82.7	A	42.9	46.9	8.2	2.0											・生徒・保護者一人一人の教育的ニーズに応えられるように、研修を積み、教職員一人一人の力量を高めるとともに、学校全体で支援していく体制を強化する。	◎	◎	・学校全体での支援は大切だともいます。 ・特別支援学級に在籍する生徒のことに特化した学びではなく、それぞれにあった学びの場を大切にしていきたい。その一つとして、支援学級があるという学びの積み重ねが大切になると思います。
		②特別支援学級の充実	特別支援学級在籍生徒への理解が深まり、適切な指導に向けた実践研究が進んでいる。	3.2	79.5	B	27.3	63.6	9.1	0																						
		③授業で困り感のある生徒への対応	支援の必要な生徒に対して、スクールアシスタントを配置するとともに、巡回教育相談やSSW、SCを活用し、より効果的な手立てを検討している。	3.8	93.8	A	75.0	25.0	0.0	0																						
3 豊かな心	（1） 生徒指導	①生徒指導方針の共有と指導体制	生徒指導方針を明確にし、全教職員の共通理解のもと問題行動の未然防止に努め、問題行動に迅速かつ一貫した指導に当たっている。	3.4	85.4	A	50.0	41.7	8.3	0	学校は、生徒の社会性を培い自主性や自律性を育てるため、全員が一致した生徒指導を行い効果をあげている。	3-(1)	3.1	76.6	B	26.1	54.3	19.6	0.0	あなたは、学校生活のきまりを守って生活していますか。	4	3.6	89.2	A	58.6	39.7	1.7	0.0	・生徒がスマホやケータイによって、被害者や加害者にならないように、生徒だけでなく、教師や保護者への研修会や啓発を行う。 ・SCやSSW、関係機関との連携を密にして、不登校生への効果的な指導に努める。 ・いじめはどこでもあるという意識で、敏感なアンテナで生徒との関係づくりをしていく。また、「いじめを許さない学校」を年間を通じて発信していく。 ・カウセリングマインド研修を行い、相談しやすい雰囲気づくりをしていく。	◎	◎	・全ての生徒が、自分の考えを発信できるような、風通しよい環境があると、いじめを起こさないと考える。現状を続けて頂きたい。 ・保護者との情報交換を密にして、生徒の生活についての共通理解を深めることが大切だと思います。 ・困ったときに相談できる先生がいなくても、誰かがいてくれることを望みます。 ・スマホや携帯の研修を親と子が同時に行い、家庭でのルール作りのきっかけにして、必ず作ってほしいと思います。
		②教員の生徒指導力（集団づくり）	現律ある学習や学校生活を指導するとともに、好ましい人間関係と豊かな集団生活が営まれる学級づくりができている。	3.4	84.1	A	36.4	63.6	0.0	0	学校は、生徒が良好な人間関係をつくる力、あいさつなど基本的な生活習慣、社会のルールやマナーを身につける指導を行い、効果をあげている。	3-(2)	3.0	76.1	B	25.5	53.2	21.3	0.0	あなたは、挨拶をきちんと交わしていますか。	5	3.7	93.1	A	74.1	24.1	1.7	0.0				
		③教育相談の推進	全教職員が生徒の内面理解に努めるとともに、面談週間やスクールカウンセラー等が効果的に機能している。個別支援に努め、不登校や虐待等の問題にもきめ細やかに対応している。	3.4	89.6	A	66.7	25.0	8.3	0	教師は子どもたちの話をよく聞いてくれ、相談しやすい雰囲気がある。	3-(3)	3.2	80.6	A	40.8	44.9	10.2	4.1	あなたは、困った時に相談できる先生がいますか。	6	3.1	76.3	B	34.5	44.8	12.1	8.6				
		④いじめを許さない指導の充実	いじめを許さない校風のもと、いじめの早期発見・早期解決に向けたアンケートや教育相談の充実を図り、いじめ対応チームを軸にした指導体制の充実を図っている。	3.8	93.8	A	75.0	25.0	0.0	0	学校では一人一人が大切にされており、いじめの問題が起きた時でも、教師は一生懸命解決に向けて指導してくれると思う。	3-(4)	3.4	84.4	A	52.1	37.5	6.3	4.2	あなたは、いじめや人のいやがることをしないよう相手の立場を大事にして生活していますか。	7	3.5	88.4	A	56.9	39.7	3.4	0.0				
		⑤情報リテラシーの向上	スマホ、ケータイなどのルール、マナーづくりを推進し、ネット依存、ネットいじめ、課金問題、個人情報保護問題などに充分対応できる子どもたちを養成している。保護者の啓発と協力を得て、親子ルールをつくっている。	3.5	86.4	A	45.5	54.5	0.0	0	スマホ、ケータイなどのルールやマナーを指導し、家庭でのルールを決めている。	3-(7)	2.9	71.8	B	21.3	46.8	29.8	2.1	あなたの家ではスマホ、ケータイなどのつい「家庭のルール」がありますか。	9	2.9	73.3	B	27.6	46.6	17.2	8.6				
	（2） 道徳教育	①道徳教育	全体計画が作成され、全教育活動の中で道徳性を育成するよう取り組むとともに、道徳の時間の指導を工夫している。教科道徳に向けての準備も進められている。	3.7	93.2	A	72.7	27.3	0.0	0	命の大切さや思いやりの心、公共心や善悪の判断など、子どもが道徳で学んだことが生活の場で生きていると思う。	3-(5)	3.3	82.8	A	35.4	60.4	4.2	0.0	あなたは、道徳の授業を受けて考え方が変わることがありますか。	8	3.3	82.3	A	36.2	58.6	3.4	1.7	・ローテーション授業を取り入れ、全教職員で道徳性の育成に努める。	◎	◎	・道徳は機会あるごとに学べると思います。その積み重ねが、人権感覚にもつながると思います。 ・互いに授業を見合いながら、子どもの状況の共通理解を図るとともに、授業力の向上に努めることは大切な取り組みであると思う。
	（3） 人権教育	①人権教育	人権尊重の精神が隅々まで行き届き計画的に育成されている。新たな人権課題にも対応した取組も進められている。	3.6	90.9	A	72.7	18.2	9.1	0	学校は人権意識や人権感覚を高めるために工夫した取り組みを進めている。	3-(6)	3.2	80.7	A	35.4	52.1	12.5	0.0	あなたは、世の中にある差別や偏見に気づき、考えることがありますか。	10	3.4	85.3	A	43.1	55.2	1.7	0.0	・学校生活全般を通して、一人一人の個性や感受性を大切にしていく。	◎	○	・学校の教育活動の根底となる大事なものである。「個性や感受性を大切に」とは具体的にどうゆうことかの共通理解も大切です。
	（4） 特別活動	①特別活動	行事の内容が充実するとともに、望ましい集団活動を通じて自主的・計画的に活動の活性化が図られている。	3.6	89.6	A	58.3	41.7	0.0	0										あなたは、体育大会、文化祭などの行事や生徒会活動、学級の係活動などに積極的に参加していますか。	11	3.3	83.6	A	51.7	36.2	6.9	5.2	・生徒の意見が反映された自主的な活動ができるようにする。	◎	◎	生徒自身が楽然と行事に参加するのではなく、行事参加を通して自主的に成長する活動となるよう期待する。
4 健康・安全	（1） 危機管理体制の整備	①危機対応マニュアルの確立	災害や事故発生時の危機対応マニュアルが設置され、全教職員が地域と協力して速やかに実行できる。	3.4	85.4	A	41.7	58.3	0.0	0																			・防災訓練の内容を見直していく。 ・常日頃から「自分の命は自分で守る」という意識を持たせるようにしていく。	◎	○	・地味ではあるが、日頃の準備がないと的確な行動にはつながらない。日常の取り組みを継続して頂きたい。 ・防災訓練はそのときに自分がどう行動すべきかを考えて、繰り返し訓練することが大切だと思います。 ・見直す視点が明らかになっている方がよいと思います。
		②防犯教育、防災教育の充実	生徒の防犯、防災意識を高め、緊急時に生徒が迅速かつ的確に行動できるよう指導している。	3.5	86.4	A	45.5	54.5	0.0	0																						
		③教職員の訓練	平常より防災研修や防犯教室等の訓練を通じて、教職員一人一人の危機管理の実践力を高めている。	3.5	86.5	A	46.2	53.8	0.0	0																						
	（2） 健康・安全	①健康・安全指導	健康で安全な生活を送るための保健衛生指導が徹底できている。また、災害発生時にもリスクを最小限にとどめる配慮や指導が行われている。自転車通学の安全が十分に図られている。	3.5	86.5	A	46.2	53.8	0.0	0	学校は、生徒の健康や安全な生活を守るための取り組みを積極的に行っていると思う。	4-(1)	3.3	83.2	A	39.1	54.3	6.5	0.0	あなたは、自分の健康管理や安全管理ができていますか。	12	3.4	85.8	A	50.0	43.1	6.9	0.0	・年2回の交通安全教室を開催している。交通ルールや自転車の乗り方について学習して、生徒の安全意識の向上を図っている。また、学期に1回自転車点検を行っている。 ・栄養教諭による食の指導を行い、食への関心を高めている。 ・通学路についてのアンケートを実施することにより、危険個所の把握や自転車の乗り方について考える機会を設ける。	◎	◎	・以前より自転車の乗り方が安全面でよくなっている。挨拶もよくなっている。 ・自転車通学においては、慣れが事故を引き起こすこともある。地道な指導を続けて頂きたい。 ・「食育」は健康な体を維持するための基本であり、また「食品ロス」などの問題への関心を高め、食料やエネルギーのことを考える機会にもなると思う。 ・安全への意識は高いと感じます。 ・食生活は生徒自身が意識できていてよいと思います。
		②食育・給食指導	望ましい食習慣を身につけ、健康な食生活を送るための指導が、家庭や地域と連動して意図的・計画的に行われている。	3.3	81.8	A	45.5	36.4	18.2	0	子どもは望ましい食習慣を身につけ、好ましい食生活を送っていると思う。	4-(2)	3.4	84.9	A	41.7	56.3	2.1	0.0	あなたは、健康的な食生活を意識して送っていますか。	13	3.4	85.8	A	48.3	46.6	5.2	0.0				
	（3） 部活動	①適正な部活動の推進	部活動は人格の完成をめざすものであり、生徒の主体性のもと、計画的、協働的におこなわれている。 勝利至上主義や生徒、保護者に過度な負担をしいていないなど、適正な活動がおこなわれている。	3.7	93.2	A	72.7	27.3	0.0	0	部活動は生徒の成長にとって有意義なものであり、適正に行われていると思う。	4-(3)	3.2	79.8	B	36.2	48.9	12.8	2.1	あなたは、部活動を通じて心も体も成長できていると思いますか。（入部者のみ）	14	3.7	92.1	A	68.3	31.7	0.0	0.0	・生徒の自主的な活動ができる部活動運営をする。 ・生徒の安全を確保するため、全員顧問、複数顧問で対応する。	◎	◎	・コロナ禍でどこまで部活動ができるのか。無理は禁物。 ・現状の生徒数で、出来る活動は限られているのため、令和4年度以降に向けた準備が重要になると思います。 ・生徒評価も高く、生徒自身が積極的に参加し、意義も感じていることがわかります。 ・コロナのこともあり、感染症対策をとりながらの活動は大変だと思います。部活動は子ども達にとって大事なもの一つであると思いますので、できることは是非、どんどん活動させてあげてください。
		②健康・安全についての配慮	部活動における生徒の健康や安全について、リスクを最小限にとどめる配慮や指導が行われている。	3.7	93.2	A	72.7	27.3	0.0	0																						